

4. 会津坂下町

(1) 会津坂下町の位置

会津坂下町（町役場）は、北緯37度33分，東経139度43分に位置しています。東西11キロメートル，南北14キロメートルのややたて長で，面積が91.65平方キロメートルあります。標高は177メートル（町役場）の地点にあります。

会津地方の主な市や町である会津若松市，喜多^{きたかた}方市，会津高田町，柳津町へそれぞれおよそ12キロメートルのきよりにあるため，昔から交通の重要^{じゅうよう}な所として栄えてきました。

会津坂下町は，東は会津若松市，塩川^{しおかわ}町，湯川^{ゆがわ}村，西は柳津町，西会津^{たかさと}町，高郷^{やまと}村，北は喜多^{きたかた}方市，山都^{やまと}町，南は北会津村，新鶴村と隣りあっています。

(2) 会津坂下町の歴史と文化

町の西部の山地には，縄文^{じょうもん}時代の遺跡^{いせき}（人々が住んでいた跡）が多数見られ，また，前方後円墳^{ぜんぽうこうえんふん}（大昔，土を高くもり上げてつくった身分の高い人の墓）としては，東北地方で2番目の大きさを誇る「亀ヶ森^{はかもり}古墳^{こふん}」を始め，「鎮守ヶ森^{ちんじゆ}古墳^{こふん}」「杵ヶ森^{きね}古墳^{こふん}」などの古墳，さらに，「恵隆寺^{えりゅうじ}観音堂^{くわんおんどう}・千手^{せんじゆ}観音立像^{りつぞう}」や「薬師如来座像^{やくしにょらいざぞう}（宇内^{うない}薬師堂）」といった国や県の重要文化財が数多くあることから，古くから文化が栄えたことがうかがえます。

現在の会津坂下町は，昭和30年（1955年）に坂下町を中心として，若宮^{わかみや}村，金上^{かながみ}村，広瀬^{ひろせ}村，川西^{かわにし}村，八幡^{やはた}村の1町5村が合併し，その後，昭和35年（1960年）に，高郷^{やまと}村の一部，高寺^{たかでら}地区が編入されてきたものです。